



広報

ごじょうめ

昭和62年

2月15日
(毎月1日・15日発行)

No. 558



家庭的な雰囲気の寄宿舎の生活～二段ベッドのある寝室で

、広報紙中にある写真を欲しい方へ
おあげします

冬期間、積雪のため通学が困難になる落合、蛇喰、北ノ又地区の子どもたちのために建てられた杉沢小中学校の寄宿舎。昭和五十一年、同校の南隣りに完成し、木造平屋建、床面積一三二平方メートルの内部には、寝室や食堂、図書室、浴室などが完備されています。北ノ又から杉沢小中学校までは五キロ以上のお道程。寄宿舎の完成によって、人家の無い雪の山道を通つ子供たちを気づかう父兄の心配は解消されました。また、子供たちは、通学に要した時間を勉強やスポーツに打ち込むようになりました。

子供たちが寄宿舎を利用するには、十二月一日から翌年三月の終業式までですが、毎週土曜日の午後自宅に帰り、一泊して寄宿舎にもどることになっています。舍監の先生がお父さん、慈いのあばさんはお母さん、子供たちは兄弟のような家庭的な雰囲気の寄宿舎です。

杉沢小中学校寄宿舎

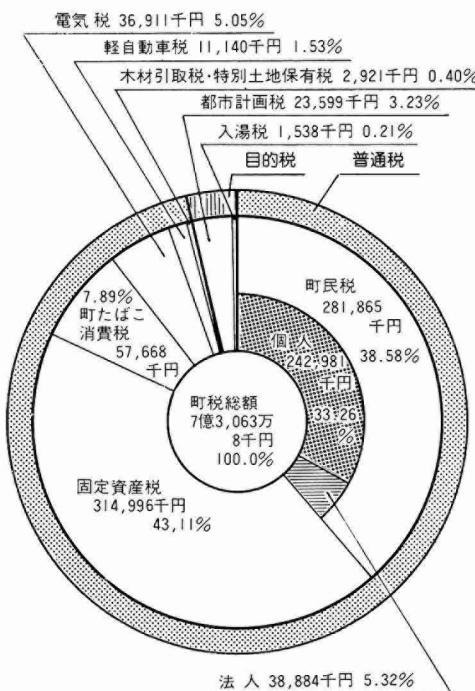
町の施設



発行／五城目町

編集／文書広報課 ☎ 0188 (52) 2100代

印刷／湖東印刷所 ☎ 0188 (52) 2430



町税の収入状況

昭和六十年度の町財政の決算が十一月定例町議会で認定されたことは「広報ごじょうめ」第五五六号（一月十五日発行）でお知らせしましたが、町内の皆さんに町の財政を正しく理解していただき、「二十一世紀を目指した住みよい、暮のしよい町づくりに」協力をお願ひするため、一般会計の決算内容をご紹介します。

昭和六十年度の田財政の決算が
定されたことは、「広報」じょうめ 第五五六号（一月十五
日発行）でお知らせしましたが、田内の皆さんに田の財政
を正しく理解していただき、二十一世紀を目指した住みよ
い、暮らしよい町づくりにご協力をお願いするため、一般会
計の決算内容をご紹介します。

十二戸定例田議会で認
きめられた比率を占めるのが地方
交付税です。歳入全体の四三
・四六%に当たり、その額は
十四億三千七十一万八千円で
す。この地方交付税をはじめ
国・県支出金などを含めた依
頼金額は、毎年三百四十三分

昭和60年度の 町の家計簿 (一般会計)

町民一人当たり20万円を支出

積極的・効率的に運用し里

こんな事業を行いました

町税徴収率
百分達成に協力を

積八八・一%となつてゐます。計画的に町づくりを進めるためには、徴収率百%達成が必要です。町内の皆さんへの納税に対するご理解とご協力ををお願いします。

普通建設事業費
町税分に相当

歳出の決算額は三十二億四千七百五十三万円で、町民一人当たり二十万七千八十六円の支出となります。

歳出の性質別決算内容は、人件費や物件費などの消費的経費が全体の約半分、投資的経費が約三割、公債費などのその他が約二割となつています。投資的経費の中の普通建設事業費は七億九千四十九万六千円で、町内の皆さんが納めた町税七億三千六十三万八千円は、すべて道路や建物などになつて町内の皆さんに還元されたと考えることもできます。

- ▽老人居室整備資金貸付
- ▽子どもの祭典
- ▽子どもの雪まつり

▽妊婦栄養食品支給
▽育児費補助金支給
▽老人保健事業として一般診
查、精密診査、婦人病検診、
胃部検診等の実施

△労働費

△リバーサイド磯ノ目開館
△水泳教室開催

農林水産業費

▽農地流動化対策推進事業
▽農業者年金加入促進事業
▽雀館運動公園施設電気設備
容量変更工事

▽町民センター自動ドア改修、
冷暖房配管更正工事

▽農業排水路整備（黒土排水路）
▽農道整備（台8号線、杉沢線）
▽集落道路整備（御藏下線、谷
地中線）

▽集落排水路整備（上山内排
水路、小野台排水路）

▽地域農業整備促進事業

▽農用地高度利用促進事業

▽農業構造改善推進事業

▽土地基盤整備事業（久保農
道、門前農道）

▽五城目町植樹祭

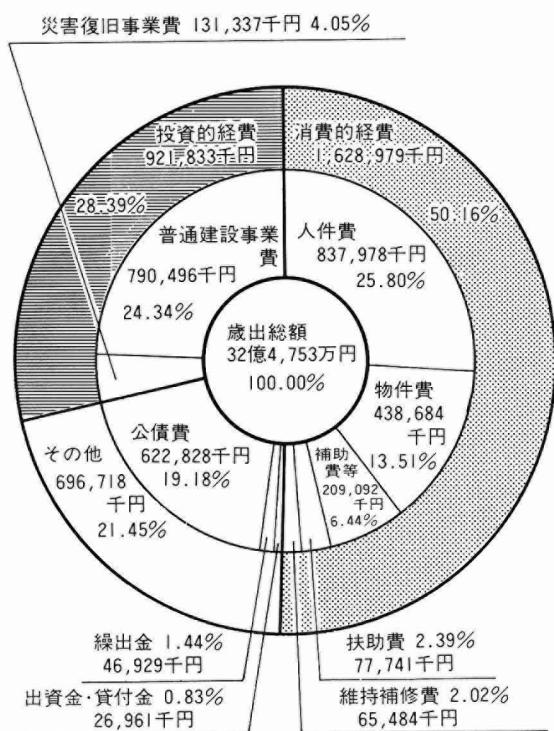
▽国際森林年記念講演会

▽民有林枝打、間伐事業

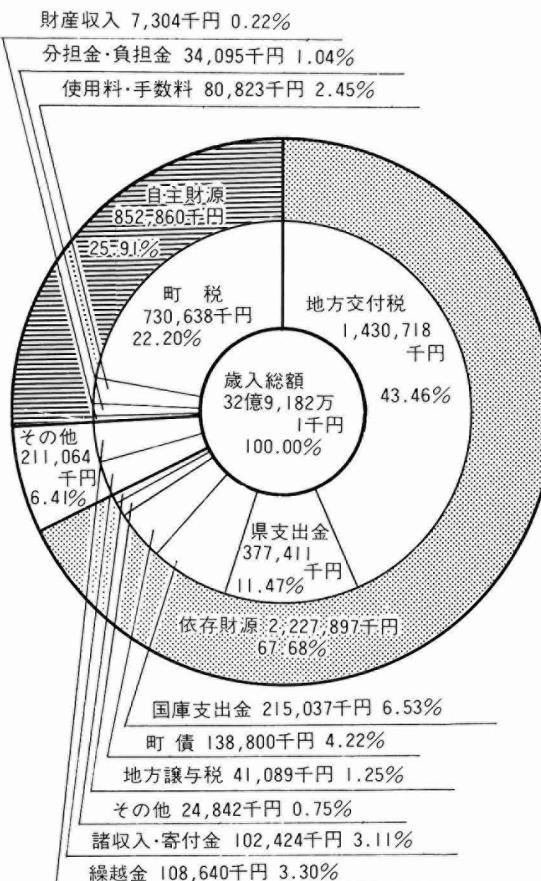
▽民有林造林適地活用促進事業

▽町有林整備





歲入歲出決算內訛



町民1人当たりの目的別支出額……1人当たりの総額 207,086円
(人口 15,682人……昭和60年4月1日住民基本台帳人口)



▽防火線整備事業

▽五城目稜線林道開設事業

▽家ノ沢林道開設事業

▽木材集出荷販売施設

▽民有林集団間伐基盤等整備事業

▽民有林集団間伐事業



商工費

▽商工業金融対策

▽商工組合中央金庫秋田支店
(預託金)

▽木工業產地化育成資金(預託金)

▽秋田県信用保証協会(出捐金)

▽五城目町商工会運営費補助金

▽五城目町物産協会育成事業
補助金

▽東京に五城目朝市出店

▽観光案内広告

土木費

▽道路維持補修工事

▽道路の維持管理

▽道路局所管事業(高崎広ヶ野線道路改良、広ヶ野下山内線安全施設整備、高崎広ヶ野線舗装新設)

教育費

▽第二回五城目町学校音楽祭
興大会

▽小中学校校舎、関係施設改修工事

▽五城目幼稚園園舎修理工事

▽黒土、富田テレビ難視聴地域解消事業

▽生涯スポーツ振興事業

▽広域体育館入口床タイル貼替工事

災害復旧費

▽農林水産施設災害復旧費

▽公共土木施設災害復旧費



臨時議會

伊藤助役の再任を同意

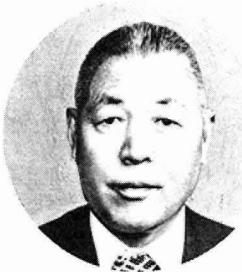
恋地山荘の宿泊料定める

第一回臨時町議会は、一月二十七日開かれ、任期満了した。伴う助役の選任をはじめ、五城目町休養センター（恋地川莊）条例の一部改正案、町道の路線変更案、町道の路線認定案を審議し、四議案をいずれも原案どおり可決、同意しました。

伊藤現助役を再任

一月三十一日で任期満了となる助役の選任について、伊藤卓治現助役（七十歳・石崎）を再任することが、満場一致で同意されました。

伊藤助役



伊藤助役は連続五期、通算六年六月助役に就任。昭和三十一年町議会議員に初当選。三十四年六月助役に就任し、二年間務める。三十九年から町議二期。四十六年一月、再び助役に就任、以来連続五期。

△暖房料（十一月一日から
月三十一日まで）宿泊
休憩料、会議使用料の三
%
※一室を一人で使用（宿泊
休憩）する場合は一〇〇%
増し、二人で使用する場
は二〇%増し

水沢と杉沢町間に二路線が
ある。杉沢町通線の二路線が
町道に認定されました。この
二路線は、町道水沢線と町
道杉沢中通線の改良工事にと
つて残った旧道の一部です。
町道に認定された路線名は次
のとおりです。

町道の認定

田道方沙綫の路線が変更されました。これは、道路改良工事によるもので、起点の位置が変わり、路線の延長は〇六・七^{トド}となりました。

田道の路綱文

・テレビ 二時間百円

△ 使用料	小中学生 九十四円
丹前（休憩時）	三百円
浴衣（休憩時）	二百円
布団一組（休憩時）	五百円
圍碁・将棋	一回二百円
麻雀	一回五百円
カラオケ	一回千円
トレーニング器具	

町では、東京都の千代田区と姉妹都市提携を前提とした都市交流事業を進めています。千代田区は皇居をはじめ国会議事堂、各省庁、大企業の本社など日本本の政治、経済、文化の中核機能が集中する近代都市です。

近年、都市と地方がそれまでの地域における福祉の向上や地域の活性化を図るため、各地で交流事業が進められています。高度成長期においては、人々の価値観は「物」の量的拡大に置かれていました。しかし、安定成長期に入り量よりも質に価値観が変わつてきました。精神的満足感、人と人との心のふれあいという「心」に重点を置く時代となつて、都市と地方の双方が、お互いの必要性を認め合い結び付こうとしています。

都市と地方の交流によって得られる双方のメリットは、地方としては、「都市との交流により、所得機会が確保・増大する」「都市文化・情報の交流が得られる」「人と人との交流の環がひろがることにより、地域の活性化ができる」とあります。

機能や生きがいの場を見出すことができるのです。農村の緑やゆとりある空間、澄んだ川、清浄な大気、ゆったりとした生活のリズム、静けさ、豊かな自然是、都市住民にとりてリクリエート機能を有しています。また自然の生態系のメカニズムや自然そのもの、ゆとりのある時空間は、子供じた体験学習なども都会では得がたい教育的機能を有しています。都会の高齢者にとっても、農村は、自然と接し、農作業を通じて土に触れ、植物を育てるなど、生きがい環境として十分な意義を持つります。

「食」を通じての交流は農産物を通して、都市と農村の役割を知り、四季とのかかわりを持つことができるほか、直接の農産品の交流によって、質的に豊かな多種類の農産品を、都市住民は手に入れることができます。

このように都市と地方の交流は、双方の足りない部分を補うといふ点での、相互依存と相互補完的機能を有し、各地で活発化してきています。

千代田区との都市交流に向けて

1

どんな風呂釜・ボイラーでも修理します

即刻参上 こんな時にお気軽にお電話下さい。

☎ 52-9497

信頼の炎を燃やして…



有限公司 ワツナベ”燃料



紹介します



真珠会チームのつわものたち（敬称略）前列左から、椎名、石井、谷村、後列左から、小玉、宮城、畠沢、館岡、伊藤、石川、青山、宮田

全県縄引き大会で 準優勝の真珠会 チーム

石井正紀さん（二十六歳・
真珠会チーム）がキヤブテンを務める
煙町）がキヤブテンを務める
真珠会チームが、第六回全県
綱引き選手権大会で準優勝を
成し遂げました。

秋田市・県立体育馆で行われ
県内から男子百三十五チーム
女子五十チーム、小学生二十
五チームが参加しました。真
珠会チームは、トーナメント
戦を七連勝して決勝に進出、
決勝で破れはしたものの、出
場二回目にして準優勝に輝き
ました。

全県総引き大会へは昨年初めて出場し、一回戦で敗退。選手たちは雪辱に燃えて、昨年の十月から練習を開始しました。練習日は週三回。練習場の広域体育館にメンバーがそろうのは、いつも午後七時ころで、熱の入った練習が午後九時過ぎまで続けられました。そして正月が明けてからは、練習日を毎日にして大会に備えました。また、町内に総引きのチームがないので、井

だれも予想していなかつたと思ひます」と笑つていました。が、「ここ（準優勝）までやつたからには途中でやめられないと、この次は優勝を目指します」と闘志満々でした。

う「つわもの」がメンバー。本町と八郎潟町、昭和町の選手による混成チームで、本町の選手は石井さんを含めて四

川町の鈴木部品・飯田川町の太平山チームと練習試合を行つて、実戦の勘を養いました。決勝の対戦相手は、六回連続出場で過去準優勝二回と、

町道昭辰町旧県道線（小玉
鉄工所前の三差路から馬城橋
に通じる道路）が、二月二十
日から車両通行止めとなりま
す。この車両通行止めは、昨
年七月から架替工事が進めら
れている馬城橋の桁撤入、架
設などのために行われるもの
ですので、ご理解とご協力を

お願いします。なお、
夜間は通行できます。
▽車両通行止め期間
二月二十日～二十八日
▽車両通行止め時間
午前八時半～午後五時
▽工事担当

車両通行止め区間



眞珠会チームのメンバーは
次のとおり。(敬称略・順不同)
谷村和博=監督(八郎潟町)
畑沢 一(八郎潟町)
石川 透(八郎潟町)
館岡誠志(高崎)
青山広秋(八郎潟町)
椎名 満(昭和町)
石井正紀(畠町)
宮田 南(岡本)
宮城弘人(蓬内台)
小玉正幸(八郎潟町)
伊藤正仁(八郎潟町)

郷土色豊かに……「まごころ」こめたお菓子

五城目菓子組合

兼任の軍勢は、陸奥國に入るといつそうふくれあがつた。鎌倉の支配に反対する在地豪族が、続々と参加してきたからである。その兵力は一万余となつた。大軍の中核となつたのは、兼任麾下の騎馬軍団だつたことはいうまでもない。

騎馬軍団は文治六年（一九〇）二月十一日に平泉を攻略して、疾風のように駆け抜け、一路南下していく。兼任の電撃作戦は、鎌倉方の平泉防衛が後手になるほどだった。この時兼任は、廢墟とな

った平泉の堂塔伽藍を見たはずである。そして、自分の手で平泉の榮華を再現しようという夢をもつたと思われる。目標は多賀國府である。多賀城は八世紀初め頃に鎮守府・陸奥國府がおかれた砦で、大宰府のようである。多賀城は八世紀初め頃に鎮守府・陸奥國府がおかれた砦で、大宰府のようである。

多賀城は前九年の役（一〇五五年頃）では源氏の拠点となつたし、平泉藤原王國の時代はそのコントロールの下にあつた。有名無実化していても、多賀國府をおさえることは陸奥・出羽両国に号令できる権力をにぎることを意味する。

当時、多賀城の留守所には、本留守氏・新留守氏がいたが、両氏とも頼朝の支配には不満であり、不安を

つた。鎌倉の新体制は、留守所の否定につながると感じていたからである。

彼等は兼任の到着を待つ

ていた。かつて藤原氏の

軍司をつとめた兼任と、本

新の両留守氏は面識の間柄であつた。

多賀城

小野一二

大河兼任のなぞ

(22)



多賀城・国府正庁跡
(黒く見えるのは正庁の礎石)

しかし、律令制がゆるみ、

東北地方に中央貴族の莊園

が多くなるに従つて、國府

が多くの機能は次第に失われる。

陸奥守に任じられても、貴族は遠い国には赴任して来なくなつた。

そうした場合、國守の命

をうけて任國にやつてきた代官の目代が、國府に留守所を設けて國務を行つた。

目代はいつの間にか任地に定住するようになり、留守所に職を世襲したために、陸奥

国では留守氏などとよぶよ

うになつていて了。

多賀城は前九年の役（一

〇五五年頃）では源氏の拠

点となつたし、平泉藤原王

國の時代はそのコントロ

ルの下にあつた。有名無実

化していても、多賀國府を

おさえることは陸奥・出羽

両国に号令できる権力をに

ぎることを意味する。

県教育委員会では、このほど昭和六十一年度県芸術祭公募文芸作品集「あきたの芸術」の入選者を発表しました。本町からは、細田陽炎さん（館町）が川柳部門で推薦作家に選ばれたほか、短歌と川柳部門に六人が入選しました。

部門別応募数は、小説・評論十三、詩三十一、短歌八十

五、俳句百一、川柳五十八。

町内関係の入選者は次のとおりです。（敬称略）

（短歌）

（川柳）

（二つの風）

（一期一会）

（千貝みどり）

（東磯ノ目町）

（びっくり）

（渡部光人（大川二区））

（愛渴くとき）

（石井トモ子（町村））

（雑草）

（箱）

（東磯ノ目町）

（びっくり）

（渡部光人（大川二区））

（愛渴くとき）



同窓会名簿を作成中

昭和六十二年度は、中学校創立四十周年に当たります。これを記念して五城目第一中学校同窓会では、最新版の同窓会名簿を作成するため、このほど編集委員会を結成しました。

でおたずねがあると思います。正確な名簿を作成するためのおたずねですのをご協力をお願いします。

なお、昭和五十五年作成の同窓会名簿は、二十四期生まで住所の調査をしてあります。が、今回は三十六期生まで住所や就職先を確認することになりますので、同窓生の皆さんのご理解とご協力を願います。

今回の名簿は、四月に統合する次第です。

する富津内中学校分も加わり、かなり分厚いものになりますが、一冊千五百円程度でお配りする予定です。発行は八月を予定しており、二千部限定出版となります。編集委員までは、直接事務局へ予約していただいた場合は、優先したと考えて います。

（敬称略）
一月十日
三万円 上田町 工藤鉄太郎
（亡父鉄三郎様の香典返しとして）
一月十二日
一万九千二百十円
五城目ローターアクトクラブ
好会
（チャリティーダンスパーティの収益金を寄付したもの）

3月ごみ収集日程表

「もえるごみ」

新里町・広ヶ野・希望ヶ丘・田町・上田町 今町・御蔵町・小池町・川原町・新町 一番町・古川町・紀久栄町・館町・中川原 樋口・岩城町	2日・5日・9日・12日・16日 19日・23日・26日・30日	月・木
築地町・烟町・新烟町・東磯ノ目町・西磯 ノ目町・矢場崎・仲町・長町・米沢町・ 雀館・昭辰町・大川(1区～4区)	3日・6日・10日・13日・17日 20日・24日・27日・31日	火・金
大川(1区～4区以外の地区)・馬川地区・馬 場目地区・森山地区・富津内地区・内川地区	4日・7日・11日・14日・18日 25日・28日	水・土

「もえないごみ」

新里町・広ヶ野・希望ヶ丘・田町・上田町 今町・御蔵町・小池町・川原町	14日・第2土	28日・第4土
新町・一番町・古川町・紀久栄町・館町・ 中川原・樋口・岩城町	13日・第2金	27日・第4金
築地町・畠町・新畠町・東磯ノ目町・西磯ノ目町 矢場崎	12日・第2木	26日・第4木
仲町・長町・米沢町・雀館・昭辰町・大川(1区~4区)	11日・第2水	25日・第4水
大川(1区~4区以外の地区)・森山地区・馬川地区	10日・第2火	24日・第4火
馬場目地区・富津内地区・内川地区	9日・第2月	23日・第4月

注意

- ・台所のごみ（もえるごみ）は必ずよく水切りをしてから出してください。
- ・「もえるごみ」と「もえないごみ」を混同して入れてある場合は収集しません。
- ・祝日および振替休日は収集しませんので注意してください。
- ・ゴミ1個を10kg以内にこしらえて出してください。

五城目町清掃センター TEL.52-9904

そば五十個
大川伊藤金千加
うどん五十個
上樋口猿田源三郎
一月三日

▽十二月二十三日

